

私立

近畿大学

問合せ先 医学部学務課

☎589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

☎(072) 366-0221 <http://www.med.kindai.ac.jp/>**教育目標&特色**

1974年に誕生して以来、実学教育と人格の陶冶を建学の精神に掲げ、「人に愛され、信頼され、尊敬される医師」の養成をめざして、6年一貫教育体系のもと、高度な医学知識と医療技術を備えた医師・医学者を輩出してきた。現在はグローバルをキーワードに、世界で活躍できる医師や研究者を育てるべく教育体制を充実させており、海外提携大学を拡大して2年次から参加できる留学制度を実施している。最新の設備を備え最先端の医学研究が行われている大学病院であると同時に、南大阪地域唯一の大学病院としてあらゆる疾患に対応できる診療科目、医療体制を整えた医療拠点で学ぶことができるという点が最大のメリットである。

**カリキュラムの特色**

医師としての能力、人格を高め、グローバルな医療人材への成長も見据えた6年間のプログラム。学生一人ひとりの個性に寄り添った教育で、着実なステップアップを目指している。

1年次は、将来の医師につながる基礎教養を身につけ、医師や研究者として活躍していくために必要な社会意識、倫理観を養う。また、グローバルコミュニケーションスキルの向上にも力を入れ、世界へ羽ばたく医療人の育成も目指している。1年次から病院実習を導入しているのも大きな特徴で、多様な臨床現場を体験し、目指すべき方向性を考える機会を提供している。2年次から始まるチュートリアルは、臨床・研究の両分野で必要とされる「自発的に問題の本質に気づく力」を養うことを目的に、少人数制で行われる教育プログラムで、課題となる症例に対して原因を突き止めるポイントや問題の解決方法をグループで話し合う。ディスカッションから生まれた新たな課題や疑問点は自学自習を原則に、さらに追及し、個人で理解を深める努力を続ける。3年次には、臨床医学を8つのユニットに分類して学ぶ教育プログラムが本格化。専門分野をより理解しやすく効率的に学習できるようユニットに細分化して分野に関連する専門教員が講義を担当する。ユニットコース学習終了時には学生の理解をはかるための試験が実施され、医師の基礎となる知識を全員が修得できるようきめ細かな指導を行っている。4年次は臨床医として必要な知識を修得し、共用試験で自らの修得レベルを自覚し、次の学びに備える。また、総合大学の強みを生かして実施する医薬連携プログラムでは、医学部と薬学部の学生が交流し、チーム医療の意義や重要性について考える機会となっている。5年次から始まる臨床実習(クリニカル・クラークシップ)は、学生が医療チームの一員として指導医に密着して行う実習で、附属病院ほか3つの総合病院を持ち、あらゆる診療科を揃える近畿大学の強みを生かした教育プログラムになっている。5年次の1年間は、診療参加型実習を基本として、グループに分かれて各診療科をローテードする。さらに、3病院の特徴を生かしてプライマリ・ケアから先端医療まで総合的な臨床教育を学び、豊かな人間性と医師としての倫理観・責任感を身につける。6年次は、医師国家試験に向けた万全の準備ができる学習体制が整えられている。選択臨床実習(クリニカル・クラークシップ)は、学生の希望する大学病院内での進路に合わせた選択システムが導入され、救急救命センターや地域の連携病院など多岐にわたる実習選択が可能になっている。同時に国家試験に準拠した内容に試験を4月から3か月間毎週1科目実施し、夏からは国家試験対策へとシフトしていく。秋には卒業総合試験が行われ、その後、医師国家試験を受験する。

**大学DATA**

- ◆沿革 昭和49年に医学部を設置した。
- ◆学部所在地 \*大阪狭山キャンパス=問合せ先に同じ。**アクセス**南海高野線金剛駅から狭山ニュータウン・泉ヶ丘行バスで約15分、近畿大学病院前下車。または泉北高速鉄道泉ヶ丘駅から狭山ニュータウン・金剛行バスで約15分、近畿大学病院前下車。
- ◆学部学科・定員 医学部=医学科115名
- ◆大学院 医学研究科=医学系専攻45名
- ◆おもな付属施設 附属病院、堺病院、奈良病院、ライフサイエンス研究所、東洋医学研究所、腫瘍免疫等研究所など。
- ◆学寮 設置していない。

**参考資料**

●医師国家試験合格率

| 区分   | 全 体 |     |     |       | 新 卒 |     |     |        | 既 卒 |     |     |       |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-------|
|      | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 合格率   | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 合格率    | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 合格率   |
| 2017 | 124 | 103 | 91  | 88.3% | 115 | 95  | 87  | 91.6%  | 9   | 8   | 4   | 50.0% |
| 2016 | 128 | 104 | 94  | 90.4% | 109 | 85  | 85  | 100.0% | 19  | 19  | 9   | 47.4% |
| 2015 | 132 | 124 | 104 | 83.9% | 102 | 94  | 83  | 86.3%  | 30  | 30  | 21  | 70.0% |

●学校納付金(2018年度)

| 区 分   | 入学手続時       | 初年度総額      | 2年次以降      |
|-------|-------------|------------|------------|
| 入学金   | 1,000,000円  | 1,000,000円 | -          |
| 授業料   | 2,050,000円  | 4,100,000円 | 4,100,000円 |
| 実験実習費 | 150,000円    | 300,000円   | 300,000円   |
| 施設設備費 | 200,000円    | 400,000円   | 400,000円   |
| 教育充実費 | 500,000円    | 1,000,000円 | 1,000,000円 |
| 諸会費   | 4,500円      | 4,500円     | 4,500円     |
| 合 計   | 3,904,500円  | 6,804,500円 | 5,804,500円 |
| 6年間総計 | 35,827,000円 |            |            |

\*入学手続き終了後に任意の寄付金を募集する。

●奨学金制度

日本学生支援機構奨学金のほかに、近畿大学奨学金(年額300,000円を給付または年額600,000円を貸与)などがある。

# 2018 年度入試要項

## 募集人員

| 区分  | 一般前期 | 一般後期 | C方式前期 | C方式中期 | C方式後期 | 推薦 | A O | 編入学 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|----|-----|-----|
| 医学科 | 65   | 5    | 10    | 3     | 2     | 30 | -   | -   |

\* 推薦には地域枠 20 名 (大阪府 3 名、奈良県 2 名、和歌山県 10 名、静岡県 5 名) を含む。

## 試験日程

| 試験区分  |        | 出願期間         | 試験日       | 合格発表日  | 手続締切日  |
|-------|--------|--------------|-----------|--------|--------|
| 一般前期  | 1次試験   | 12月15日～1月11日 | 1月21日     | 2月1日   |        |
|       | 2次試験   |              | 2月4日      | 2月10日  | 2月26日  |
| 一般後期  | 1次試験   | 2月3日～2月17日   | 2月27日     | 3月11日  |        |
|       | 2次試験   |              | 3月14日     | 3月18日  | 3月26日  |
| C方式前期 | センター試験 | 9月26日～10月6日  | 1月13日・14日 | 2月10日  |        |
|       | 2次試験   | 1月3日～1月12日   | 2月18日     | 2月24日  | 3月5日   |
| C方式中期 | センター試験 | 9月26日～10月6日  | 1月13日・14日 | 2月10日  |        |
|       | 2次試験   | 1月3日～1月27日   | 2月18日     | 2月24日  | 3月5日   |
| C方式後期 | センター試験 | 9月26日～10月6日  | 1月13日・14日 | 3月11日  |        |
|       | 2次試験   | 2月3日～2月26日   | 3月14日     | 3月18日  | 3月26日  |
| 推薦入試  | 1次試験   | 11月1日～11月9日  | 11月19日    | 11月30日 |        |
|       | 2次試験   |              | 12月3日     | 12月13日 | 12月25日 |

\* 入学辞退者の学費返還申出期限は3月31日。

\* 2次試験合格発表時に補欠者を発表し、欠員が生じた場合は、順次繰上げ追加合格者を発表する。

## 一般入試

| 試験区分 | 教科  | 科目(→は選択科目数)          | 配点   | 時間  |
|------|-----|----------------------|------|-----|
| 1次試験 | 数 学 | 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(列べ)。     | 100  | 60  |
|      | 理 科 | 物基・物、化基・化、生基・生→2。    | 200  | 120 |
|      | 外国語 | コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。 | 100  | 60  |
| 2次試験 | 小論文 | 与えられた主題について論述する。     | 段階評価 | 40  |
|      | 面 接 | 個人面接。                | -    | 約10 |

**C方式(センター利用)入試**

| 試験区分 | 教科     | 科目(→は選択科目数) | 配点                   | 時間   |             |
|------|--------|-------------|----------------------|------|-------------|
| 前期   | センター試験 | 数 学         | 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数Bの計2。      | 各100 | 各60         |
|      |        | 理 科         | 物、化、生→2。             | 各100 | 各60         |
|      |        | 外国語         | 英(リスニングを含む)。         | 100  | 80          |
|      | 2次試験   | 小論文         | 与えられた主題について論述する。     | 段階評価 | 40          |
|      |        | 面 接         | 個人面接。                | -    | 約10         |
| 中期   | センター試験 | 国語・数学       | 国(近代)、数Ⅰ・数A→1。       | 100  | 国80・数60     |
|      |        | 理 科         | 物、化、生→2。             | 各100 | 各60         |
|      |        | 外国語         | 英(リスニングを含む)。         | 100  | 80          |
|      | 2次試験   | 小論文         | 与えられた主題について論述する。     | 段階評価 | 40          |
|      |        | 面 接         | 個人面接。                | -    | 約10         |
| 後期   | センター試験 | 国語・数学・理科    | 国(近代)、数Ⅰ・数A、物、化、生→2。 | 各100 | 国80・数60・理60 |
|      |        | 外国語         | 英(リスニングを含む)。         | 100  | 80          |
|      | 2次試験   | 小論文         | 与えられた主題について論述する。     | 段階評価 | 40          |
|      |        | 面 接         | 個人面接。                | -    | 約10         |

**推薦入試**

①推薦条件=学業・人物ともに優秀な現役・1浪。地域枠は卒業後に当該府県の地域医療に貢献することを確約できる者が対象。②選考方法=学力検査の合格者に2次試験として書類審査・小論文・面接を課す。<学力検査> ◇数学=数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(列べ)。◇理科=物基・物、化基・化、生基・生から1科目選択。◇外国語=コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。小論文は与えられた主題について論述する。面接は個人面接で1人10分程度。

**\* 合否判定** 一般は1次の合格者に2次を課す。C方式はセンター試験の合格者に2次を課す。いずれも学科試験は総合点で選考する。小論文は段階評価を行う。

**\* 試験場** 一般前期=1次は大阪狭山キャンパス(南海高野線金剛駅からバスで近畿大学病院前下車)・東大阪キャンパス(近鉄大阪線長瀬駅下車、徒歩約10分)・東京(TKP市ヶ谷カンファレンスセンター)・名古屋(TKPガーデンシティ PREMIUM名駅西口)・広島(広島県JAビル)・小倉(北九州予備校小倉駅校)・福岡(代々木ゼミナール福岡校)、2次は本学狭山キャンパス、一般後期=1次は東大阪キャンパス・東京(TKP市ヶ谷カンファレンスセンター)、2次は本学狭山キャンパス。C方式(前期・中期・後期)=2次は本学狭山キャンパス。

**\* 受験料** 一般・推薦57,000円、C方式30,000円

**入試のポイント**

来春の試験日は、一般前期の1次が埼玉医科大前期1次、川崎医科大(一般・地域枠)1次と重複、2次は相手校の受験日によって昭和大I期2次、北里大(一般・地域枠)2次、兵庫医科大2次と重複。一般後期は1次・2次とも重複校がない。C方式前期・中期2次は埼玉医科大後期2次、東京慈恵会医科大地域枠2次のほか、相手校の受験日によって東京慈恵会医科大一般2次と重複、C方式後期2次は重複校がない。

入試科目は、一般1次が数学・理科・英語の3教科、2次は小論文・面接。数学は前期がマークセンス方式1題、記述式2題、後期は記述式3題で、微分・積分、数列、ベクトル、確率など幅広い範囲から出題される。標準的な問題が多いから、ケアレスミスが命取りになる。標準的な問題集を完全にやっておきたい。物理は大問3題で、力学、電磁気、波動がよく出題される。化学は大問3題で、教科書レベルの基本的な問題が多い。生物は大問4題で、すべて記述式。記述量が比較的多い。英語は長文読解2題、文法2題、英作文1題で、全問マークセンス方式。ややハイレベルな内容も含まれるので、読解力を高めるとともに語彙力をつけておきたい。一般前期は東京、名古屋、広島、小倉、福岡、後期は東京にも試験場を設けている。

# 2017 年度入試DATA

## ●入学者選抜実施状況

| 区分      | 募集人員 | 志願者   | 受験者   | 1次合格 | 2次受験 | 正規合格 | 補欠者 | 補欠合格 | 合格者 | 競争率   | 入学者 |
|---------|------|-------|-------|------|------|------|-----|------|-----|-------|-----|
| 一般(前期)  | 65   | 1,750 | 1,655 | 268  | *    | 151  | *   | 0    | 151 | 11.0  | 65  |
| 一般(後期)  | 5    | 931   | 813   | *    | *    | 5    | *   | 0    | 5   | 162.6 | 4   |
| C方式(前期) | 10   | 547   | 547   | 94   | *    | 31   | *   | 0    | 31  | 17.6  | 14  |
| C方式(中期) | 3    | 191   | 191   | 26   | *    | 13   | *   | 0    | 13  | 14.7  | 4   |
| C方式(後期) | 2    | 125   | 125   | 15   | *    | 2    | *   | 0    | 2   | 62.5  | 1   |
| 推薦      | 30   | 716   | 699   | *    | *    | 52   | -   | -    | 52  | 13.4  | 30  |

\* 2次受験者、補欠者は非公表。

## 【合格者の成績】

カッコ内は2016年度。

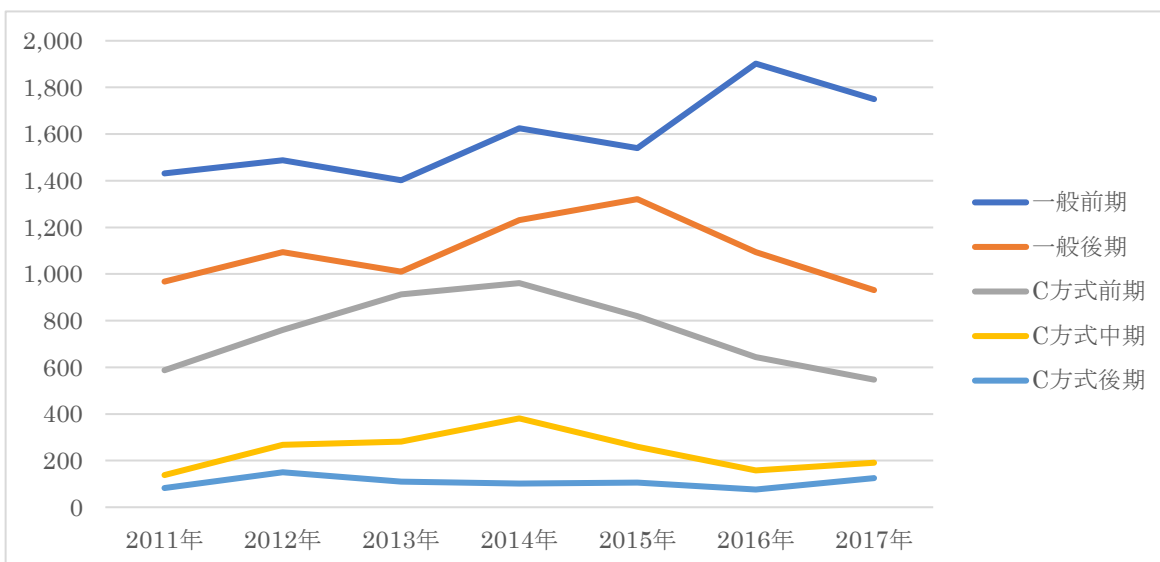
| 区分     | 配点       | 最高点  | 最低点      |
|--------|----------|------|----------|
| 一般(前期) | 400(600) | -(-) | 217(374) |
| 一般(後期) | 400(400) | -(-) | 271(353) |
| 推薦     | 300(350) | -(-) | 180(227) |

\*入学者の現浪別内訳 現役 27 人、1浪 34 人、2浪 22 人、3浪 10 人、4浪 9 人、5浪以上 16 人。

\*入学者の男女別内訳 男子 78 人、女子 40 人。

\*合格者の出身地別内訳 大阪 82 人、兵庫 28 人、京都 24 人、奈良 20 人、福岡 16 人、和歌山・広島各 12 人、愛知 10 人、東京・岡山各 7 人、愛媛 5 人、高知 4 人、茨城・神奈川・長崎・大分各 3 人、北海道・福井・山梨・静岡・三重・徳島・香川・佐賀・鹿児島・沖縄各 2 人、青森・埼玉・新潟・石川・長野・滋賀・鳥取・山口・熊本・その他各 1 人。

## 【志願者数の推移】



## ●小論文の内容

一般入試(前期・後期)・C方式(前期・中期・後期)、推薦入試とも2次で課す。今春は、一般前期が「オートファジーの研究で、2016年度ノーベル医学生理学賞を受賞した大隅良典氏は、私は役に立つという言葉がとっても社会をだめにしていてと思っていますと述べ、役に立つことが数年後に事業化できることと同義語になっていることに問題があると指摘しています。この発言に対するあなたの考えを述べなさい(400字以内)」、一般後期が「再生医療の課題と展望について考えを述べなさい」400字以内)、C方式(前期・中期)は「10年後の日本の医療について自

分の考えを述べなさい」400 字以内)」、推薦が「人の命の価値に軽重はないという意見について、例を挙げてあなたの考えを述べなさい」という内容だった。

●面接の内容

一般入試(前期・後期)・C方式(前期・中期・後期)とも2次で実施する。面接官2人で、事前にアンケートに答え、それに基づいて質問される。志望の理由、高校生活について、理想とする医師像などが聞かれることが多い。